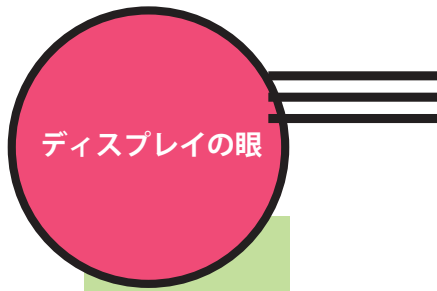


ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し
技術を磨き
ディスプレイを通じて
社会に貢献する

CONTENTS

ディスプレイの眼 「空間」と「場」	・ ・ 1
第 53 回通常総会開催	・ ・ 2
平成 28 年度 新入社員教育研修会 「ビジネスマナー編」 「業界編」& 交流会	・ ・ 3 ・ ・ 4
Next HERO わが社の新人紹介	・ ・ 6
東京デザイン巡り バスタ新宿	・ ・ 8
第 47 回親善野球大会	・ ・ 10
お年玉企画当選者の声 高級リムジンクルージング 体験報告	・ ・ 12
安全委員会主催 新入社員教育 「足場の組み立て等の 業務に係る特別教育」	・ ・ 13
青年懇話会報告 45 周年記念事業 「グローバルイズム研修会」	・ ・ 14
新規加入組合員紹介	・ ・ 15
暑中お見舞い名刺広告	・ ・ 16
表紙デザイン大募集	・ ・ 19
編集後記	・ ・ 20



「空間」と「場」

「え〜と…ここは前、何が建ってたっけ…？」

東京の街は再開発から店舗の新装まで、日々、絶え間なく行われ都市の表情は上書きされ、記憶は描きかえられいきます。また、見慣れた場所、通い慣れたお店、歴史ある建造物が姿を消すとき、たくさんの惜しむ声をよく目にします。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、東京は更に変貌していき、私たちも大きく関わることでしょう。

一方、地方や地域で住民やNPOなどが、自ら欲しい未来を作り課題解決していく動きも活発です。「空間」と「場」をDIY精神でカタチにし、世代間交流を生み出したり、外部から人を呼び込み、流れを変えコミュニティや街を形成していく。いわばソフトに重きを置いたハードづくりや整備。

この二面性を考えながら、我々がつくる「空間」と「場」も、点でつながり面となって街を形作っていきます。オリンピック・パラリンピック控え、少子高齢、人口減少も進む中、必要な「空間」と「場」とは何か？

次の時代、世代に何を残せるか？

可能性ある業界でもあり、責任ある仕事だと改めて感じます。

広報委員 浅野 敦司／(株)乃村工藝社



表紙デザイン
樋口公範／
株式会社日商インターライフ

ディスプレイのステージは想像力によってどんな場所でも展開ができる。創り上げる作品は、クリエイターの想いによって、雲のようにどんな形にでも展開できる。そんな意味をこめてみました。